



お手入れのしかた

必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお手入れをしてください。
お手入れの方法を必ず守ってください。本製品が故障する恐れがあります。

ご注意

- ベンジン・シンナー・金属たわし・磨き粉・化学ぞうきんをよごれ落としとして使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥機は使わない。
- パッキンなどの紛失に注意する。

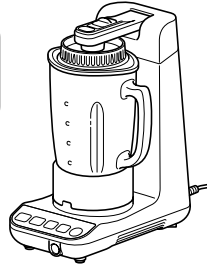
お手入れをする前に

汚れがひどいときは、以下の手順で予備洗いをしてください。

1 13・14ページの手順1～3に従い

水またはぬるま湯 (40℃以下)：ボトル1/3程度 (約250ml)
台所用中性洗剤：数滴

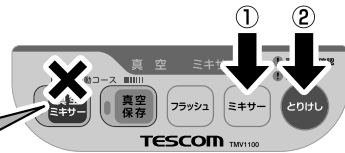
を入れたミキサーボトル部を本体に取り付け、電源を入れる。



2 ①ミキサーボタンを押して数秒間運転させ、②とりけしボタンを押して止める。

●汚れの程度により、運転時間を調整してください。

△故障の恐れあり
予備洗いの際は、絶対に真空ミキサーボタンを押さない。故障の原因となります。



3 回転が完全に止まってから電源ボタンを押して電源を切り、ミキサーボトル部を本体から外す。(15ページ参照)

4 電源プラグをコンセントから抜く。

5 フタを外して中の水(ぬるま湯)を捨て、水で軽くすすぎ、各部に分けてお手入れをする。

お手入れのしかた

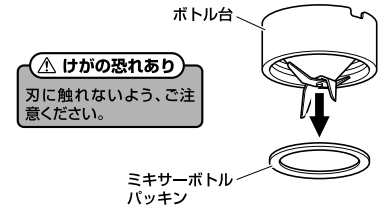
各部の取り外しかた

ミキサーボトル

①ボトル台を図の矢印の方向に回して取り外す。

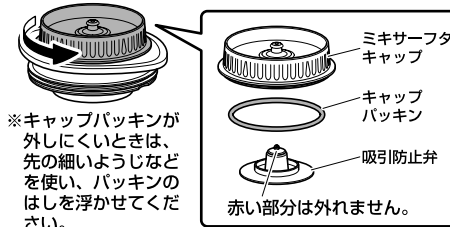


②ボトル台から、ミキサーボトルパッキンを外す。

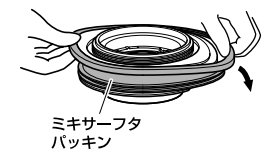


ミキサーフタ部

①ミキサーフタキャップを図の矢印の方向に回して取り外し、それぞれに分ける。

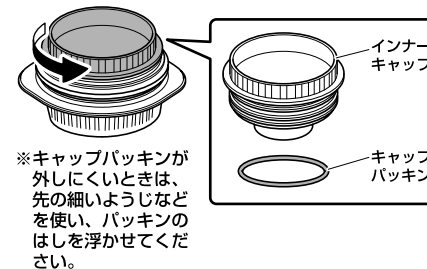


②ミキサーフタパッキンを引っ張りながら外す。

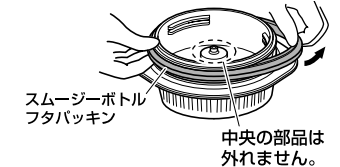


スムージーボトルフタ部

①インナーキャップを図の矢印の方向に回して取り外し、それぞれに分ける。



②スムージーボトルフタパッキンを引っ張りながら外す。



③フタバルブを縁からめくるようにして引き抜く。



お手入れのしかた

お手入れのしかた



食器洗浄機や食器乾燥機は使えません。

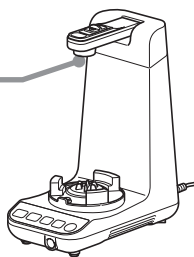
本体

「石けん水」または「水で薄めた中性洗剤」に浸したやわらかい布をよく絞ってふき取る。

△ 水濡注意

本体は水洗いできないのでぬらさないよう注意する。故障の原因となります。

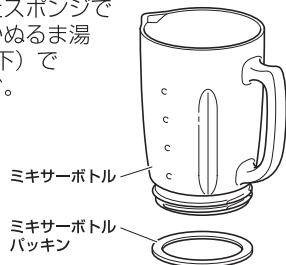
本体の接続部には洗剤を使わず、よくしぼった布で水ぶきしてください。



ミキサーボトル部

ミキサーボトル・ミキサーボトルパッキン

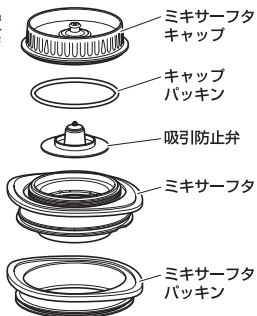
各部分に分けて（24ページ参照）中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水かぬるま湯（40℃以下）でよくすすぐ。



ミキサーフタ部

各部分に分けて（24ページ参照）中性洗剤をつけたスポンジや付属のヘラつきブラシで洗い、水かぬるま湯（40℃以下）でよくすすぐ。

※フタ部はつけ置き洗いしないでください。



ボトル台

カッターが付いた面を洗うときは、刃に触れないよう中性洗剤をつけたヘラつきブラシで洗い、水かぬるま湯（40℃以下）でよくすすぐ。

ボトル台裏面は「石けん水」または「水で薄めた中性洗剤」に浸したやわらかい布をよく絞ってふき取る。

●安全スイッチピンのまわりもお手入れしてください。

△ 水濡注意

ボトル台裏面は水洗いできないのでぬらさないよう注意する。故障の原因となります。

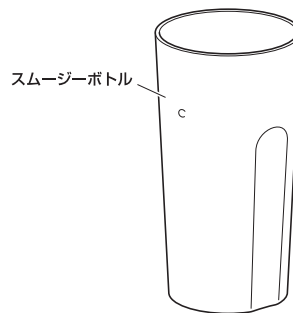


ボトル台裏面に直接水をかけたり、ボトル台のつけ置き洗いをしないでください。内部にさびが発生して故障する恐れがあります。

スムージーボトル部

スムージーボトル

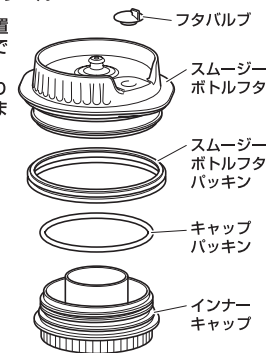
各部分に分けて（24ページ参照）中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水かぬるま湯（40℃以下）でよくすすぐ。



スムージーボトルフタ部

各部分に分けて（24ページ参照）中性洗剤をつけたスポンジや付属のヘラつきブラシで洗い、水かぬるま湯（40℃以下）でよくすすぐ。

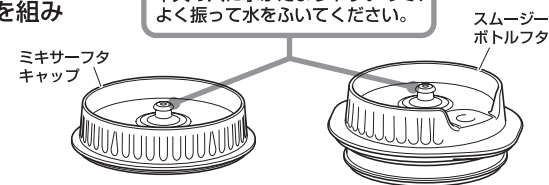
※フタ部はつけ置き洗いしないでください。食材などが入り込んでしまいます。



お手入れのあとは....

1 お手入れのあとは水分をふき取り、十分に乾燥させてから各部分を組み立てる。

中央の穴に水がたまりやすいので、よく振って水をふいてください。



2 ミキサーボトル部を本体にセットし、直射日光の当たらない通気性の良い場所で保管する。

※水分が残っていると、さびやカビが発生する原因となります。

